別紙様式１

事　業　計　画　書

令和　年　月　日

マリンオープンイノベーション事業化促進事業（ＤＸ推進枠・海洋プラスチック対策枠）に関する事業計画書を提出します。

　なお、応募資格をすべて満たしていることを誓約するとともに、本記載内容について偽りがないこと、履行が可能であることを証します。

　　静岡県知事　鈴木　康友　様

|  |  |
| --- | --- |
| コンソーシアム名称 |  |

（代表機関）

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地 |  |
| 代表機関名称 |  |
| 代表者職名 |  |
| 氏名 |  |

（業務責任者）

|  |  |
| --- | --- |
| 所属・職名 |  |
| 氏名 |  |
| 電話番号 |  |
| E-mail |  |

* アプリケーションソフトは、原則MS-Wordを使用し、適宜、MS-Excel、MS-Power Pointを使用して作成してください。
* 規格はＡ４とします。

１　概要

（１）事業計画の名称

|  |
| --- |
|  |

（２）事業計画の概要（文字数150字程度）

（どのような事業化を目指すのか、また、そのためにどのような革新的な技術開発やコンソーシアムを構成するか等について簡潔に記載してください。）

|  |
| --- |
|  |

（３）構成員及び補助対象経費　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分※２） | 名　称 | 補助対象経費※１） |
| １年目 | ２年目 | ３年目 | 計 |
| 構成員１（代表機関） |  |  |  |  |  |
| 構成員２ |  |  |  |  |  |
| 構成員３ |  |  |  |  |  |
| 計（Ａ） |  |  |  |  |
| 補助金所要額（Ｂ）※３） |  |  |  |  |

※１ 補助事業期間に応じて記載してください。

※２ 全ての構成員について記載してください。

※３ 補助対象経費（Ａ）の２分の１以内とし、ＤＸ推進枠は1,500万円（単年）を、海洋プラスチック対策枠は1,000万円（単年）を上限としてください。複数年計画の場合は3,000万円以内（複数年合計）とします。

（４）事業の背景と目的

（社会的・技術的背景を踏まえて、事業の目的を簡潔に記載してください。）

|  |
| --- |
|  |

２　目指す事業化の内容と経済的効果

（１）事業化の内容

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業化案件名※１） | 事業化の内容 | 革新的な技術開発との連動※２） | 事業化目標年度 |
|  |  |  | 　　年度 |
|  |  |  | 　　年度 |
|  |  |  | 　　年度 |

　※１ 事業化の内容を件名として表現してください。

　※２ 革新的な技術開発と事業化がどのように連動するのかを記載してください。

（２）事業化により期待される経済的効果（積算値）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 令和　年度※１） | 令和　年度(事業開始から５年目) | 令和　年度(事業開始から10年目) |
| 関連産業等の増加額（Ａ） | 万円 | 万円 | 万円 |
|  | 上記のうち、静岡県内における増加額（Ｂ） | 万円 | 万円 | 万円 |
|  | 静岡県内の経済的効果の割合（Ｂ／Ａ）※２） | ％　 | ％　 | ％　 |

　※１ 事業開始初年度から起算して５年目にあたる年度よりも前に経済効果が現れる場合は、当該年度

分における経済的効果を記載してください。

　※２ 小数点第１位を四捨五入して記載してください。

（３）経済的効果の算出根拠

（「（２）の経済的効果」について、「関連産業等の増加額」及び「上記のうち、静岡県における増加額」のそれぞれの積算根拠を記載してください。)

|  |
| --- |
|  |

３　事業の効果

（１）事業の海洋プラスチック対策としての効果や優位性

（事業化にあたり、どのような効果が想定されるか、また、他の類似事業と比較し、優位性はどの程度あるのかを簡潔に記載してください。）

|  |
| --- |
|  |

（２）技術シーズやこれまでの取組状況

（開発の基盤となる主な技術シーズやこれまでの開発状況を記載してください。）

|  |
| --- |
|  |

（３）開発過程における技術課題や解決方法

（技術開発のために解決すべき技術的な課題やその課題に対する解決方法を記載してください。）

|  |
| --- |
|  |

（４）ＤＸ（デジタル・トランスフォーメーション）との関連性について

（事業のＤＸへの貢献度を記載してください。)

|  |
| --- |
|  |

（５）カーボンニュートラルとの関連性について

（事業のカーボンニュートラルへの貢献度を記載してください。)

|  |
| --- |
|  |

４　役割分担の合理性

（１）コンソーシアムの構成員一覧、役割分担※１)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 構成員１（代表機関） | 構成員２ | 構成員３ |
| 名称 |  |  |  |
| 所在地 |  |  |  |
| 代表者職・氏名 |  |  |  |
| 所在地が静岡県以外の者で、県内に事務所又は事業所がある場合 | 名称 |  |  |  |
| 所在地 |  |  |  |
| 役割※2) |  |  |  |
| 計画の実現を可能とする実績又は能力を記載 |  |  |  |

※１ 全ての構成員について記載してください。

※２ 「６（２）イ 担当する工程区分名」と一致するように記載してください。

（２）構成員の組み合わせ

（構成員の技術やアイデア、サービス、その他の事業化のためのリソースが過不足なく組み合わされていると考えられる理由を記載してください。）

|  |
| --- |
|  |

５　代表機関の適性

（代表機関がどのように事業全体を総括し、牽引していくのか、また、代表機関が事務処理能力やコンソーシアムの管理運営能力を有すると考えられる理由を記載してください。）

|  |
| --- |
|  |

６　適切な事業化工程

（１）全体工程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分※１） | 補助対象期間 | 事業化目標年度 | 補助事業終了後から事業化までの取組※２） |
| １年目 | ２年目 | ３年目 | 到達目標（最終年度）※２） |
| １　(1) (2) (3) (4)  |  |  |  |  | 令和　年度 |  |
| ２　(1) (2) (3) (4)  |  |  |  |  | 令和　年度 |  |
| ３　(1) (2) (3) (4)  |  |  |  |  | 令和　年度 |  |

※１ 区分欄は、事業化案件ごとに括り、整数部分に事業化案件名、( )数字部分に事業化のために必要な工程区分名を記載してください。

※２ 事業化案件名ごとに内容を記載してください。( )数字ごとではないので注意してください。

（２）工程の内訳（事業化案件ごとに作成してください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業化案件名※１） |  |

　　ア　令和６年度事業内容・到達目標※２）

|  |  |
| --- | --- |
| 区　分 | 内　容 |
| 令和６年度事業内容 |  |
| 令和６年度到達目標 |  |
| 達成度の判断基準※３） |  |

　　イ　年度別・構成員別事業内容

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 構成員１（代表機関） | 構成員２ | 構成員３ |
| 構成員名称 |  |  |  |
| 令和６年度 | 担当する工程区分名※１） |  |  |  |
| 事業内容 |  |  |  |
| 補助対象経費 | 円 | 円 | 円 |
| 令和７年度 | 担当する工程区分名※１） |  |  |  |
| 事業内容 |  |  |  |
| 補助対象経費 | 円 | 円 | 円 |
| 令和８年度 | 担当する工程区分名※１） |  |  |  |
| 事業内容 |  |  |  |
| 補助対象経費 | 円 | 円 | 円 |

※１ 「（１）全体工程」の事業化案件名及び工程区分名と一致するように記載してください。

※２ コンソーシアム全体について記載してください。

※３ 到達目標に対する達成度をどのような基準で判断するかを記載してください。

７　コストの費用対効果

（１）経済効果とコストバランス

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 補助金所要額合計（Ｃ） | 関連産業等の増加額※１）（Ｂ） | Ｂ／Ｃ※２） | 静岡県における増加額※１）（Ｂ’）  | Ｂ’／Ｃ※２） |
| 令和　年度 | （万円） | （万円） |  | （万円） |  |
|  |  |  |  |  |
| 令和　年度 | （万円） |  | （万円） |  |
|  |  |  |  |

※１ 「２（２）」の値と整合させてください。

　※２ 小数点第３位を四捨五入して記載してください。

（２）コスト抑制の工夫

（補助対象事業費や補助金所要額を積算する上で、コスト抑制の工夫を行った内容があれば記載してください。）

|  |
| --- |
|  |

８　収支予算書（収支決算書）

（１）総括表（令和６年度分のみ）

ア 収入　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 科　目 | 構成員１（代表機関） | 構成員２ | 構成員３ | 計 |
|  | 構成員名称 |  |  |  |
| 県補助金 |  |  |  |  |
| 自己資金 |  |  |  |  |
| 借入金 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |

イ 支出　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 科　目 | 構成員１（代表機関） | 構成員２ | 構成員３ | 計 |
|  | 構成員名称 |  |  |  |
| 原材料費 |  |  |  |  |
| 機械装置購入等経費 |  |  |  |  |
| 産業財産権関連費 |  |  |  |  |
| 外注費 |  |  |  |  |
| 構築物購入等経費 |  |  |  |  |
| 技術コンサルタント料 |  |  |  |  |
| 委託費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |

（２）科目別支出内訳（令和６年度分のみ）

|  |  |
| --- | --- |
| 構成員名称※） |  |

ア　原材料費

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 仕　様 | 数　量 | 単価（円） | 金額（円） | 備　考 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |

イ　機械装置購入等経費

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 仕　様 | 数　量 | 単価（円） | 金額（円） | 備　考 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |

ウ　産業財産権関連費

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 内　容 | 金額（円） | 備　考 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |

エ　外注費

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 内　容 | 金額（円） | 備　考 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |

オ　構築物購入等経費

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 仕　様 | 数量 | 単価（円） | 金額（円） | 備　考 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |

カ　技術コンサルタント料

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 内　容 | 金額（円） | 備　考 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |

キ　委託費

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 内　容 | 金額（円） | 備　考 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |

ク　その他

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 仕　様 | 数量 | 単価（円） | 金額（円） | 備　考 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |

※ 構成員ごとに作成してください。